

シーズ名	超高濃度有機性排水が浄化できるハイブリッド伏流式人工湿地ろ過システム	分類：10
所属 / 職 / 氏名	生産環境研究領域 / 主任研究員 / 加藤 邦彦	
キーワード	ハイブリッド伏流式人工湿地、デンプン廃液、養豚尿液、排水処理	

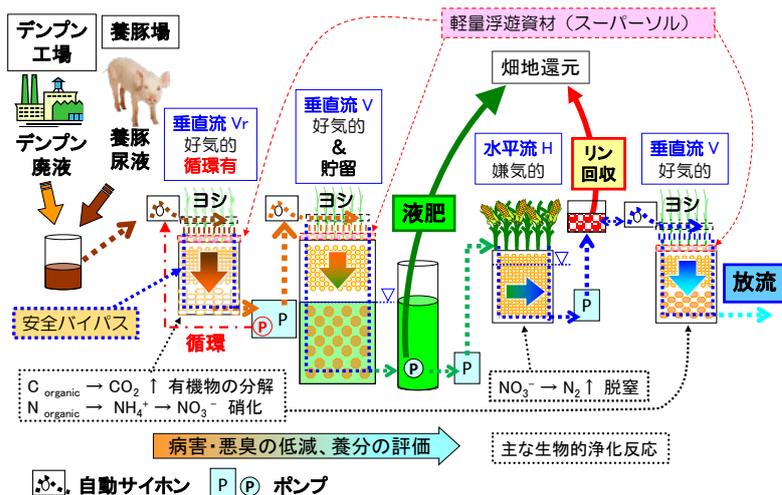
どんな技術？

一言アピール

低濃度から超高濃度までの幅広い濃度の有機性排水を多段階の伏流式人工湿地でろ過するシステムです。

有機物濃度が極めて高いバレイショデンプン工場廃液や養豚尿液を浄化するハイブリッド伏流式人工湿地ろ過システムを開発しました。

従来のシステムに比べ、省スペース、低コストで河川放流が可能なレベルまで排水浄化処理が達成できます。



(システムによる有機性排水処理のイメージ)

何に使えるの？

養豚・酪農など畜産に関わる生産者、デンプン工場などの食品加工事業者など、高濃度の有機性排水処理を必要とする様々なユーザーに提供できます。

関連特許	伏流式人工湿地システム、特許第 4877546 号（特願 2006-249667）
関連資料等	平成 24 年度 研究成果情報「超高濃度有機性排水を浄化できるハイブリッド伏流式人工湿地ろ過システム」 http://www.naro.affrc.go.jp/ K. Kato et al. (2013), <i>Ecological Engineering</i> , 51, 256-263 加藤邦彦 (2012)、 <i>土づくりとエコ農業</i> , Vol.44(1), 63-68